## CENTIMETER MASTER GAS GUN

ゲームをする場合には周囲の状況に十分注意し正しく使用して下さい。誤つた使用方法若しくは改造，変造，分解に よつて生じた事故や故障についてメーカーは一切その責任を負いません，良く説明書を読んでから御使用下さい。

## ガス銃取扱い注意

（1）カスボンべやガスを注入した銃を，高温になる場所（真夏の車の中や冬のストーフ の近く）に置かない事。
（2）フロン12ガス以外のガスを銃に注入しない事。
③銃にガスを注入してすぐ撃ちますと，生ガス（液状）が出る場合がありますが，故障 ではありません。
（4）発射した後，銃より時マシユーと音がしても，タンクが呤えたためで，温まります と止まりますので少しまってから使用して下さい。
（5）銃を連発速射しますと，弾速があちる場合がありますが，ガスタンクガ陾えたためです。撃つのをやめると弾速はもどります。
（6）冬など寒い時は，ガスを注入する場合，入りにくくなります。ガスボンベを手で温 めてから注入して下さい。（なお，カスボンベを $40^{\circ} \mathrm{O}$ 以上には絶対しない事。）
（8）撃ち終つたら，必ず，カスを抜いて下さい。（空撃ちをしてカスの無いのを確かめて，小さなお子様の手の届かない所に保管して下さい。）

## 冬など寒い場所で使う時

この銃はタンク内蔵フロンガス使用ですが，フロンカスは温度が下りますとガス圧が低下し，飛びが悪く成つたりガスが扳ける誤動作をおこします。それな時は右図のガ スフースター又はエアータンク，グリーンガスの使用をお願いします。（専門店でお買 い求め下さい。）

－ガスフースター・エアータンク，クリーンガスの継 ぎ方は＜図3＞注入／陁フをはずして下さい。

## 操 作 方 法

## （1）弾丸の入れ方

＜図1＞本体よりマガジンキャツチを押してマガジンを抜き出す
＜図2＞マガジンのエレベーターを下にさげロツつする。マガジンの上から弾丸 11発を入れる。（11発以上入れない事）
＜図1＞マガジンを本体に差し込むとエレべーターのロックは解除する。
＜注意＞銃をかまえてマガジンキャツチを押さえるとマガジンガ抜け落ち破損す る事が有るので落さない事。
（2）ガス注入要領
＜図3＞銃を逆さにしてガス注入口よりガスボンべを強く差し込み数利間押さえ る，ガスが充塡出来ると周りからガスが出て来る，充塡が終り。
＜注意＞図3の様に必ずボンべを下にむけて使用する事。
（3）安全装置（セフティー）
＜図1＞セフティーレバーを上にするとセフティー（発射が出来ない）下にする とフリー発射が出来る（長時間セフティーをかけない事）。
＜注意〉スライドを前にしてセフティーレバーを上にあげるとセフティ一がかかる。 （4）発射
＜図1＞セフティーレバーをフリーにしてトリガーを引くとスライドが前に移動 する，もう一度トリガーを引くと空撃になりこれで発射準備が出来まし た。トリガーを引くと弾丸が発射する。
＜注意〉ガス圧が低い時スライドは動きません。少し時間をおいて下さい。
（5）リヤサイトの調整方法
動く，フロントサイトと合せて位置を決める。
＜注意＞調整ネジを廻しすぎるとネジが抜けます。


## リヤサイト調整法

※上下には動きません


（図1）

## フロンガスの取扱い

트․ 温度 $40^{\circ} \mathrm{C}$ 以上の所に長時間おかない事。

- 人体に使用しない事。
- 火気の近くや直射日光のあたる所におかない事。 使用後の空缶は穴をあけてからすてる事。
- 使用後は火中に投じない事。


## 射擊マナーについての注意

本物の銃を取り扱うのと同様射撃マナーを必ず守って使用して頂きます様お願い致します。
1 銃は弾丸が装垻されているいないに拘らず絶対人や動物に向けないで下さい。
2 銃を手にした時は必ず銃口を上又は下に向けて下さい。
3 引き金を引く前には周囲を十分確認し安全を確かめた上で射撃姿勢をとつて下さい。
4固い物を標的にしたりガラス等破損する恐れがある物を的にした場合は弾丸が思わぬ方向に跳ね返り大変危険です，
特に注意して下さい。
5銃を使用しない時は弾丸が銃身又は弾倉内に残つていない事を確かめた上，箱に収納して下さい。
6銃は幼児の手が届かない所に保管して下さい。
7マガジンに弾丸が入っていないと思っても，万一入っている場合があります。（マガジンを抜いた場合でも，入って
いる場合があります。）人に向けたり，銃口をのぞいたりは，絶対にしない事。
8この銃はプラスチック製ですから，乱暴な扱い方をすると破損します。
9必ず遊ぶ時はゴ一グルを使用して下さい。

## 提言〉 人に向けるな，人を擘つな，動物を票せよ，物を大切に

